

第26回 全国消防救助技術大会



主催 財団法人 全国消防協会

後援 自治省消防庁・全国消防長会・日本財団



ゆめ・いき・いきレスキュー千葉'97

1997.8.22 千葉県消防学校



第一回全国消防救助技術大会は、去る八月二十二日千葉市の千葉県消防学校において、佐野消防庁長官をはじめ多くの来賓をお迎えして盛大に挙行された。

この大会は、全国の救助隊員が一堂に会し、日頃、鍛え抜かれた消防救助技術を遺憾なく発揮し、堂々と力一杯、訓練の成果を披露するとともに、日々複雑多様化する各種の災害に即応できる能力及び技術研鑽の場として、昭和四十七年から毎年開催している。

全国消防救助技術大会が今回で四回目の開催となる千葉市は、首都機能の一翼を担う業務核都市であり、「人間尊重、市民生活優先」を基本理念に「自立し創造する都市づくり」を基本目標として定め、国際性、文化性、快適性など五つの都市像を掲げ、世界に開かれた国際情報都市として著しい発展を続けている。

大会前の数日間は涼しい日が続いていたものの、「千葉大会は、いつも猛暑との戦いになる」との言葉通り、大会当日は寒暖計も

うなぎ登りに上昇し今夏有数の猛暑となつたが、会場は朝早くから消防関係者や全国から応援に駆け付けた一般市民等約三〇〇〇人で会場は埋めつくされ、開会前から熱気と興奮に包まれた。

定刻の九時〇〇分、全国九地区支部から選抜された精鋭救助隊員の威風堂々とした入場行進が開始され、大会運営委員長である森千葉市消防局長が声高らかに開会を宣言し第一回全国消防救助技術大会の幕が開けられた。

開会式は初めに、國らずも消防使命達成のため殉職された消防職員の御靈に対し黙とうを捧げ、国旗・大会旗・市旗を掲揚後、大井会長、松井千葉市長のあいさつ、佐野消防庁長官、沼田千葉県知事（代理・島崎千葉県副知事）、橋本千葉市議会議長の祝辞、そして

多数の方々の祝電を代表して白川自治大臣の祝電披露と続き、大会審判長の古本北九州市消防局長が審判長指示を行つた後、出場隊員を代表して、千葉市消防局の齊藤勝一隊員から「安全・確実・迅速を旨とし正々堂々と訓練します。」と力強い隊員宣誓が行われた。

閉会式では、大井会長から「規律厳正、

士氣旺盛にして、鍛度の高い救助技術が披露された。この大会へ出場するまでの長期間、厳しい訓練を積み重ねてこられたことに敬意を表するとともに、今後も地域住民の負託に応えられるよう、より一層の救助技術の鍛磨に努めていただきたい。」との講評があつた。

開会式終了後、訓練が始まるまでの間、可愛い子どもたちを中心とするバトントワリング・チーム「MAKUHARI・ミルキーガールズ」による特別演技が披露され、緊張感溢れる会場の雰囲気を和らげた。

いよいよ、訓練の開始である。

陸上の部九種目・水上の部七種目にエントリーの全国九三九名の隊員たちが、高鳴る鼓動と緊張の中で、救助隊員である誇りを胸に各々のドラマを演じていく。

会場を埋めつくした見学者から、ファイト

溢れる闘志で日頃の訓練成果を披露する隊員たちの躍動的な姿に万雷の拍手と声援が送られた。この模様は、会場に配置された（財）自治体衛星通信機構が管理する通信衛星の生放送により、数々の興奮と感動の名場面が全国に逐次紹介され、文字通りの全国大会となり多くの成果を収めた。

会場周辺では、救助隊員がお互いの健闘を讃え合う姿や再会を誓う姿が隨所で見受けられ、全国救助隊員の友好の輪は、より一層大きなものとなつた。

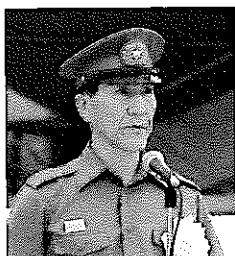
訓練終了後、千葉市消防音楽隊により、消防職員の永遠のテーマである「愛・勇気・献身」を信条とし、いかなる災害にも立ち向かう救助隊員の健闘をドリルに託した「ホリト・サマー・イン・チバ」が披露された。

閉会式では、大井会長から「規律厳正、士氣旺盛にして、鍛度の高い救助技術が披露された。この大会へ出場するまでの長期間、厳しい訓練を積み重ねてこられたことに敬意を表するとともに、今後も地域住民の負託に応えられるよう、より一層の救助技術の鍛磨に努めていただきたい。」との講評があつた。

国旗降納に續いて、大会旗が森千葉市消防局長から次回開催の池田大阪市消防局長に手渡され、堅い握手が交わされた後、千葉市消防局長が閉会を宣言すると「来年また大阪で会いましょう！」の横断幕が掲げられ、第一回大会の幕は閉じられ、隊員たちの長かつた夏は終わつた。

猛暑の中で、会場設営及び大会の運営に当たられました千葉市消防局に対し、衷心より感謝申し上げます。

あいさつ



幸久 井大衛会長
(財) 全国消防協会会員

しかししながら、社会環境の変化に伴い。近時の災害は、一層複雑多様化の様相を強め、我々消防機関に対する地域住民の期待は、ますます高まつておつまわ。

本年も、全国各地で台風、豪雨等による自然災害や各種の事故が発生し、甚大な被害をもたらしているといひあります。より高度で迅速な対応が求められてくるといひのであります。

全国各地支部の多くの隊員の中から選抜され、本大会に参加してくる隊員諸君は、いついた実情を十分認識し、更に実戦的な訓練を積み重ね、あらゆる災害に即応できる能力及び技術の磨錬に一層努めるよう切望するものであつます。

本日は、田原の訓練の成果を遺憾なく發揮し、所期の目的が達成されるよう、競闘を期待しております。

終わりになりましたが、本大会の開催にあたり、特段のJ高配を賜つまつた千葉市消防局並びに千葉市消防局の皆様に、心からお礼申し上げますと、もしも、この列席の皆様のおおむねのJ高配を祈念いたしまして、挨拶をいたしました。

本日、いよいよ千葉市において第十六回全国消防救助技術大会を開催わたいにあたり、消防庁長官殿、千葉県知事殿、千葉市長殿をはじめ、多数の来賓の御臨席を賜り、Jのよきに盛大に開催であることを感謝し申上げます。

Jの大合は、各種災害から地域住民を守るために、高度な救助技術の鍛錬と強靭な体力と精神力を養成する目的を以て、昭和四十七年以降毎年実施していくものであつます。

消防の救助技術は、隊員諸君のための訓練の積み重ねと関係各位の救助資機材の開発並びに活用技術の研究により着実に向上了しており、その成果は幾多の困難な災害現場で遺憾なく發揮され、多くの実績を残すとともに国内外を問わず、高い評価を得てござります。



祝辞
千葉市議会議長
橋本 登



祝辞
千葉県知事(代理)
島崎 實



祝辞
消防庁長官
佐野徹治



あいさつ
千葉市長
松井 旭



次期開催地あいさつ
大阪市消防局長
池田 繁



審判長指示
北九州市消防局長
古本準一



開会宣言
千葉市消防局長
森 有三

陸上の部

ロープブリッジ渡過(個人)

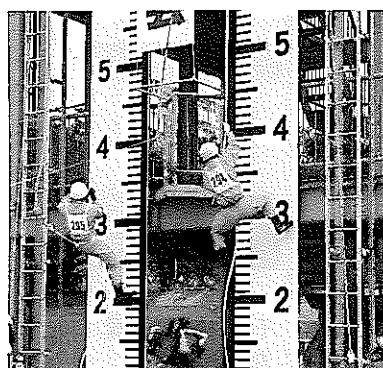
水平に展張した渡過ロープ二十メートルを、往路はセーフー復路はモンキーランで通過する。



関東	千葉市	大船橋	市原市	新堺町	地区行政事務所	北水川	北上川	恵庭市	留萌市	伊達市	伊藤大島	越後大島	伊藤大島	表彰者
東京都市圏	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	
八代広域	福岡県	八女市	八女市	福岡市	山島松原地区	高田市	益田市	萩原地区	益田市	相良町外2町広域	近畿	東海	東海	夷隅郡市広域市町村圏
広域圈	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)
三正一郎	上諫山	倉下	中庭	上平野	小前	田中	三浦根	横田	大船寄	山口本	細木	畔柳原	清水陽一	黒川内
	正義	繁志	弘田	林	真治	田	根	松井	船寄	日本	柳	原秀樹	久義	遠藤
	浩義	直	田	宮崎	治剛						畔	柳原	秀樹	和行
	幸	篠田			慎治						柳	原	剛	眞二
	義	小林			和治						原	秀樹	剛	
	稔	田			仁典						秀	秀樹	英也	
	治	弘			繁勝						樹	樹	仁嗣	
	剛	浩			基功						樹	樹	範	
					秀和						樹	樹	作	
					和久						樹	樹	英也	

ロープ登はん(個人)

垂下されたロープを、手だけを使つて十五メートルを登はんする。壁面を蹴つたり、足にロープを巻き付けることなく、登はんしなければならない。



関東	横須賀市	横浜市	東京消防庁	袖ヶ浦市	八千代市	熊谷市	新発田市	鶴岡市	酒田市	上川町	南部地区	東北	北海道	表彰者
市	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	
原林	溝口	高橋	勝立	町田	枝並	森谷	太田	岸	皆川					
公頼	靖雄	雅彦	昇夫	憲一臣	勝巳	善久	秀典	時則	敬泰					
治久														



はしご登はん(個人)

自己確保の命綱を結索後、十五メートルの垂直のはしごを登はんする。災害建物への進入など消防活動に欠かせない技術。

東海	津神岡市町	近畿	東京都市圏	中国	四国	九州	北九州	飯塚地区	香南	宇和島地区	宇和島地区	四国	中国	表彰者
市	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	
豊	岸田	太田	陽良徳	山本	森	横山	米田	河下	高石市	山口・小郡	小郡	山口	津神岡市町	
治	田	浩二	武史	和成	浩史	治朗	治朗	市	(局)	(局)	(局)	市		
昇	豊	豊	良徳											

陸上の部

表彰者

北海道	南北渡島事
東北	陸前高田市
二戸地区広域行政	二戸地区広域行政
新発田地域広域	新発田地域広域
関東	笠間市外3町広域
笠間市外3町広域	笠間市外3町広域
関東	戸羽
柳沼	斗米
小林	清貴
利美	聰明
淳一	一将
九州	宗山
福岡県南広域	井川
天草(細)	昌隆
日向市	幸志
四国	阿部
防府市	伊藤士居
賀茂広域行政	金正健太郎
土佐市	田中雅彦
四国	田中慎二
佐智郡島部	伊藤慎二
四国	阿部雅彦
防府市	伊藤慎二
賀茂広域行政	田中慎二
土佐市	伊藤慎二



ほふく救出(団体)

三人一組(要救助者を含む)で、一人が空気呼吸器を着装してハメートルの煙道を検索し、要救助者を屋外に救出、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街で煙にまかれた人を救助する基本的な訓練。

北九州(市局)

茂越天草(細)
古賀章穂敬介
黒木睦雄

郡山地方広域

関東栃木地区広域行政

笠間市外3町広域

佐原市外五町

野田市

静岡市

佐原市

知多中部広域

あすけ地域

東近畿

東浅井郡

宇治市

近畿

姫路市

高橋啓介

佐々木真一
伊藤和郁

高橋啓介

矢浪櫻田

樽井栗田

正博英則

崇全良

誠恭司

隆孝一

立秋名

久山香

中野柏

大森石垣

柳稻野

富井松原

吉田岩崎

表石山原

村杉田

上紫原丹羽

中国岩国地区

柳川和洋

多度津町

正憲上里

河崎山本

安永山地

筑紫野太宰府

大口市外四町

北九州市

田岡品川

本田大根田

岡部

田中

柳川

上田和洋

正志信行

姫路市

柳川和洋

上村廣海

正憲山本

河崎山地

安永山地

康彦祐樹

豊章克裕

晶川優

信宏哲士

大根田

田中

柳川

上村廣海

正志信行

信行

ロープ応用登はん(団体)

登はん者と補助者が、一人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。



陸上の部

九州
佐世保市(局)

四国
松山市(局)

賀茂広域行政組

中國
広島市(局)

柏原羽曳野藤井寺組

近畿
中市

大津市
京都(局)

田吉村
石原
測満
和裕
成則

坂本桑之内
智定武志昌
隆昌

谷入橋小河名木原中島
本川日本島木原田厚竹島
木厚中島

浩一正剛
英樹富三
和幸康太
裕邦彦

増森中芝
岡田奥中
松井先芝
田芝村
中芝村

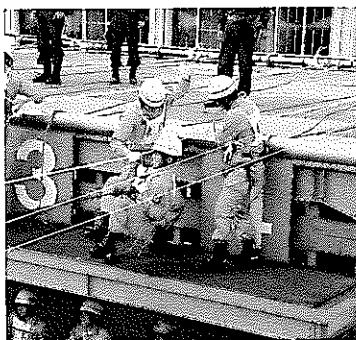
裕之聰
博一伸也
克成伸也
則一伸也

喜多西山
中村森田
内村荒木
共二寛
寛人光晴

東北
盛岡地区広域行政組

北海道
札幌市(局)

表彰者



四人一組(要救助者を含む)で、一人が渡過口一ノ門により対面する塔上に進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げ、けん引して救助後脱出する。逃げ遅れた要救助者を隣のビルから進入し、救出することを想定した訓練。

ロープブリッジ救出(団体)

佐世保市(局)
迎本山真一郎晃

吉田山本
對馬兼平
恒潤仁詩
崇忠人宏昭陽哲好和秀樹

松籬棚狩上村及菅井
籬田野及川菅井
籬田野及川菅井

横須賀市

横浜市(局)
船橋市(局)

市川市(局)
千葉市(局)

久喜地区組

浦和市
東海村

三条地域

新潟市(局)

千高穴遠本古佐小斎清大松宮高藤大平石石島岡田大八木高野笠立宮笠田伊里高涌坂佐藤佐藤近渡辺五十嵐哲洋幸博裕二
葉倉戸山多谷久間川藤水木丸地橋崎野田橋川田田利龍義辰浩重正光正伸浩孝卓宏知志純秀明志実成正己
伸永真健隆敏友利守明弥則哉路充義德博廣敦正明次治之郎志之郎秀明志実成正己
一智也次樹夫彦守明弥則哉路充義德博廣敦正明次治之郎志之郎秀明志実成正己

枚方寝屋川組

大阪市(局)

近畿
大阪市(局)

吉野広域行政組

京都
市(局)

東近畿
金沢市

豊明市

東海
名古屋市(局)

横須賀市

山北樋高川内奥中横藤大井下谷口坂野寺山井橋上

植坊小丸山村武森蔵喜大石平井西本下井村山田多谷川

生神平藤佐澤崎河小石田

守山本齊藤大鈴木守屋

雅明仁恒貴英正一浩雅一光成彦司雄士幸吾之二宏仁敏

聰昭千雄廣直賢祐信隆智士彦彰三一樹一司博司勝

洋政宣貴洋理茂

浩恒律哲史英明

陸上 の 部



五人一組（補助者を含む）で、四人が一致協力し、緊密な連携で「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により、五つの障害を突破する。あらゆる災害現場を想定した訓練。

障 碍 突 破（団 体）

菊池広域行政④
柏屋北部

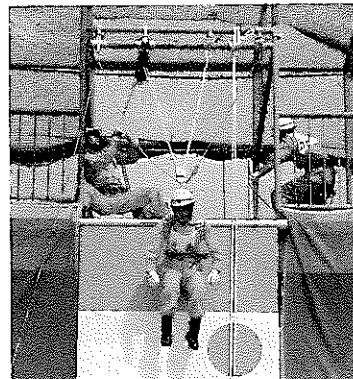
九州
岩国地区編
河内
石田
冨士永
弥重
松岡中川
佐古兼田
功英一
健恵一
微生寛
和久

北海道 札幌市局	表彰者	千葉市局	千葉市局	関東 日立市	喜多方地方広域市町村圏④	東北 山形市	小樽市
高橋田中植松山本	相松戸白瀬永志賀藤友室佐木大敏直樹喜和英知喜	鈴木井瀬野賀藤々友室佐木	白井渡部穴澤	肥田川合開沼田川	青木高橋	中川嶋田村植松	高橋田中植松山本
暢宏直樹	善直俊卓二也喜之樹勝一和人久勝	木	隆一修泰裕嘉智秀	洋朗篤敬伸久治	祐司隆寬誠治	朋英樹雅治治	高橋田中植松山本
東京消防庁	近畿	京都	愛知	東近畿	名古屋市局	大和市	横浜市局
堺市高石市編	堺市高石市編	市局	郡	市局	市局	市局	東京消防庁

宮尾佐藤定古山田市	武内西渡山猿若山青廣西藤平野右高木石原新一郎	崎内西渡辺本田杉若木青木田居高木	定武内西渡辺本田杉若木青木田居高木	高橋日比谷	遠藤佐久間	栗原浅野佐久間	藤田古定尾佐藤
吉美昭博和敏	浩志晃憲健榮直雅茂稔一司治一勝人剛弘記久	吉美昭博和敏	吉美昭博和敏	秀一玄二雄健範一哉	幸長德	久裕次成吉雄	秀紀哲郎穗一

枚方寝屋川編	堺市高石市編	中国海田地区編	阿四國	北緯	島栖・三養基地地区事	大分市局
柏原羽曳野藤井寺編	中納水島内本池	中島村山平嶺井藤子本枝	池脇牟原権増藤永川田	村櫛住植富田友松士	大室西本口茂吉村大佐岡本池田	池脇牟原権増藤永川田
竜二裕将康成圭	中納水島内本池	中島村山平嶺井藤子本枝	陽尚一達正敏淳一弘虎弥人文	武正司実吉薰	大西本口昌好俊好康博史昭	竜二裕将康成圭
博貞瑞哲也亘藏	中納水島内本池	中島村山平嶺井藤子本枝	淳一弘虎弥人文	博正司実吉薰	大西本口昌好俊好康博史昭	博貞瑞哲也亘藏

陸上の部



五人一組(要救助者を含む)で、一人が空気呼吸器を着装して、塔下に降下、検索の後、要救助者を搬送し、四人で協力して塔上に引揚げ、救助後ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホールでの災害事例から生まれた訓練。

引揚救助(団体)

大分市局 永井
野尻 雅基
好博 隆郎

東北
仙台市局
北海道
小樽市
表彰者
菅原部
大井
大泉
憲哲也
道彦剛之
敏伸幸夫
邦諭
小山
三益
佐藤日出
大山本
畠山
大
市局

飯田広域 東京消防庁 東京消防庁 市川市局 千葉市局 千葉市局
水戸市
関東

黒川地域行政(企)

平宮木黒野木富青須川大依西高石橋角田中油田野小椎井興津塚根江原猿澤下下木呂崎村田山々端信田村橋関本辺野井根崎島名岡津塚根江原井田瀬昭忠征亮紀久雄秀次太幸信紀光達雅厚通勇人智通男一久人也啓太郎辰政育雄浩豊信一夫正貴廣重男猛浩志

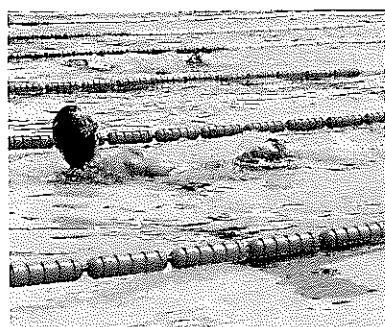
広島市局 中岡山市局 尼崎市局 近畿 柏原羽曳野藤井寺細 富山市 東近畿 豊田市 東海 名古屋市局 飯田広域

角三松湯堀佐黒末谷平飯下宮三川川角野浦西先田元浅川藤田友腸根田村腰木幡幡野浦吉牧伴内小井澤中足岡梅奥犬浅志清水平下平下柄沢宗誠一定直文浩裕宏真勝勇信光卓剛保昌和尚英樹喜治弘浩彰光厚義和治秀隆義義尚克則喜則



長崎市局 九州 北九州市局 四国
幡多西部組 広島市局 新稻垣修二
川松蒲池口廣尾崎山鬼武木笠井上浜尾岡大海
貴伸秀豊貴英伸輝和典学康洋祥正司弘則次
之吾之宏雄二禎仁学

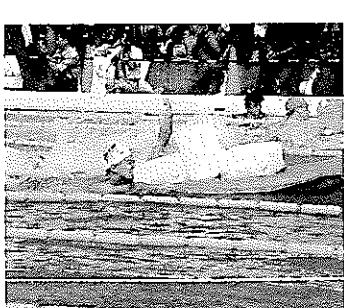
水上の部



溺者搬送(団体)

一人一組(要救助者を含む)で、救助者は「じゅんか飛び込み」で入水後、溺者を注視しながら近づき、逆行の姿勢をとり「チップル・ヘアーキヤリー」で救助する。

表彰者										賀茂広域行政組									
中国										北海道									
広島市	神戸市	枚方寝屋川細	近畿	大阪市	京都	東近畿	名古屋市	岡崎市	東海	千葉市	横須賀市	横浜市	大宮	関東	八戸地域広域市町村圏	東北	札幌市	水野厚	
(局)	(局)	(細)		(局)	(局)		(局)	(局)		(市)	(市)	(市)	(市)	(市)	(市)	(市)	(市)	(局)	知野見和之
吉津元	岡部香西	小嶋成幸	藤本恒	山本吉村	新田黒田	近藤直	石田金子	秋山直井	新濱大城	松儀秀樹	菅谷和彦	堀口公孝	坂本孝進	木村孔一	副島延彦	森谷延彦	木村延彦	木村延彦	伸武
孝伸太	辰哉	芳之暢彦	雄一郎	和巳彰二	秀樹	忍忍	拓也	源博也	和仁孝也	彦雄	彦源	進一	淳則	一則	副島延彦	森谷延彦	木村延彦	木村延彦	



救援物資搬送(団体)

三人一組で、第一泳者はたすき掛けと腰部に結着した一本のロープを伸張しながら泳ぎ対岸へ至る。物資を積載後、対岸へ協力して物資の搬送を目的とした訓練。

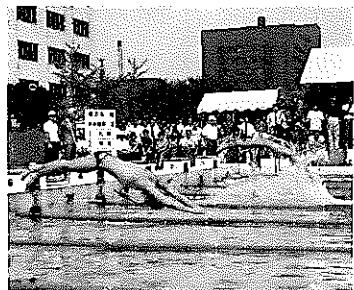
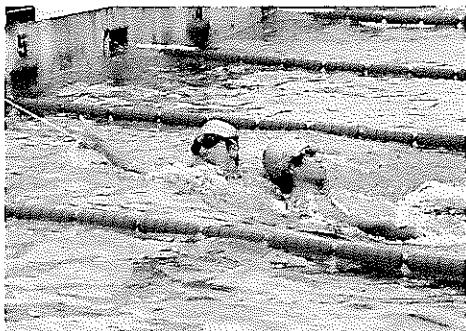
表彰者										賀茂広域行政組									
東京消防庁										四国									
関東	市川市	市	川	市	局	東京消防庁	熊本市	本部今帰仁村	九州	熊本市	熊本市	熊本市	熊本市	熊本市	熊本市	熊本市	熊本市	熊本市	熊本市
							(細)	(細)		下村	島袋	田上	阿部	山木	雅彦	珠紀	保	渡部	小林剛成
中川小椋	勝田須藤	國藤波多野	雅士喜明	篤志崇	嘉明	伸一	藤本勝	國藤喜明	東海	近畿	京都								

人命救助(団体)									
救助者のたぐり寄せるロープを利用して救助する。									

人命救助(団体)									
救助者のたぐり寄せるロープを利用して救助する。									
四人一組(要救助者を含む)で救助者は「三重もやい結び」の救助ロープをたすき掛けにして、溺者の位置に至り、要救助者一人をチップルから「フロースチエストキヤリーリー」の体勢で確保し、救助者のたぐり寄せるロープを利用し									
守口市門真市	近畿	大阪市	京都	東近畿	京都	東海	小牧市	佐藤紀彦	佐藤直樹
(市)		(市)	(市)						
守口市門真市	近畿	大阪市	京都	東近畿	京都	東海	小牧市	佐藤紀彦	佐藤直樹
(市)		(市)	(市)						
松山市	四国	吳市	中国	近畿	大阪市	京都	小牧市	佐藤紀彦	佐藤直樹
(市)		(市)	(市)						
松山市	四国	吳市	中国	近畿	大阪市	京都	小牧市	佐藤紀彦	佐藤直樹
(市)		(市)	(市)						
佐藤和貴	福本弘徳	中矢信一	澤田俊二	上野正裕	小田賢一	渡場正裕	岩山清吉	伊藤幸伸	伊藤直樹
佐藤和貴	福本弘徳	中矢信一	澤田俊二	上野正裕	小田賢一	渡場正裕	岩山清吉	伊藤幸伸	伊藤直樹
佐藤和貴	福本弘徳	中矢信一	澤田俊二	上野正裕	小田賢一	渡場正裕	岩山清吉	伊藤幸伸	伊藤直樹
佐藤和貴	福本弘徳	中矢信一	澤田俊二	上野正裕	小田賢一	渡場正裕	岩山清吉	伊藤幸伸	伊藤直樹

水上の部

東京消防庁	関東	大宮市	東北	北海道	札幌市(局)	表彰者
上田 藤野 佐藤 菊池 高鳴賢 雄士 和政 勇達 弥一郎	大木 菅谷 保雅 広公 孝	坂本 坂本 寺牛 副島 川島 森谷 児島 芦名	憲行 一則 和明 孔一 靖志 勉	八戸地域広域市町村圏⑩		



三人一組で、水中の結索環に、第一泳者「もやい結び」、第二泳者「巻き結び」、第三泳者「ふた回り心た結び」の三種類の指定した結索を行う。水中における結索技術の習得を図る種目。

水中結索(団体)

九州 宇城広域	中国 吴市(局)	守口市門真市(局)	大阪市(局)
渡並 大島 釜賀 畫崎	園田 海畠 紫崎	吉本 泰安 木村 渡場	阪口 木田 阪田 利通
秀樹 隆宏 宽宏	浩幸 浩和 隆俊	英司 大志 達也	正治 邦彦 重明
横浜市(局)	東海 小牧市	親央 達也	隆司 隆通
東京消防庁	近畿 大津市	東京消防庁	関東 東京消防庁

熊本市(局)	佐世保市(局)	中国 広島市(局)	神戸市(局)	大坂市(局)	近畿 大津市	東海 小牧市	横浜市(局)	東京消防庁	関東 東京消防庁
山田 服藤 部城 崎坂 松本 松村	大川 植田 田畑 畑田 西川 阿部 笠松 有田 田中 一木 加賀 朋司 邦彦 孝雄 達洋 和照 哲學 阿部 健二 浩二 健治	小間物谷 敏雄 和照 哲學 阿部 健二 浩二 健治	弓坂 重盛 伊藤 伊東 豊島 橋本 田中 飯田 小椋 中川	弓坂 重盛 伊藤 伊東 豊島 橋本 田中 飯田 小椋 中川	弓坂 重盛 伊藤 伊東 豊島 橋本 田中 飯田 小椋 中川	弓坂 重盛 伊藤 伊東 豊島 橋本 田中 飯田 小椋 中川	弓坂 重盛 伊藤 伊東 豊島 橋本 田中 飯田 小椋 中川	弓坂 重盛 伊藤 伊東 豊島 橋本 田中 飯田 小椋 中川	弓坂 重盛 伊藤 伊東 豊島 橋本 田中 飯田 小椋 中川
健大 利春 春樹 一輔	秀暢 春樹 一輔	重信 謙吉	昭博 健治	直樹 孝雄	則行 充	伸司 伸	剛広 順昭	正司 泰弘	信一 剛弘

インタビュー

●川端 柚子さん(神奈川県・左側)

① 救助大会を見ての感想は?
② 「救助隊」という言葉から、何をイメージしますか?
③ 救助隊員に何を期待しますか?
④ 消防に対する要望等があればお聞かせください。



- ① 緊張感が伝わってきて、見ている一生懸命やつている姿は美しいとつくづく思いました。
- ② 「かつこいい」「頼りになる」「特別な人達」というイメージですが、私の主人も救助隊員です。そんなイメージにだまされたかも……。
- ③ 救助隊員という誇りを忘れずに、目標に向かつて自分自身を磨いていいです。
- ④ これからも、常に住民の期待に応えられるよう、地域の安全を一生懸命守ってください。

●中居 清さん（岩手県）



インタビュー

- 立野 真恵さん（千葉県・左端）
- ① 猛暑の中、テキパキ動いている姿を見てとてもうれしい。若者の手本となるよう頑張ってほしい。
 - ② 自分の若かった時を思い出した。
 - ③ 訓練を重ね、国内外を問わず、役に立つてほしい。
 - ④ 災害発生時は、すぐに駆け付け、被害の軽減を図つてほしい。



● 勇かなえさん（北海道・前列右端）



- 古井 久美さん（東京都）
- ① 選手の汗を見て、大変感動しました。
 - ② 人命を助ける仕事、「すごい」の一言です。
 - ③ 事故が起こった時に、訓練の成果が生かせるように頑張ってもらいたいです。
 - ④ これからも、地域の安全を一生懸命守ってください。



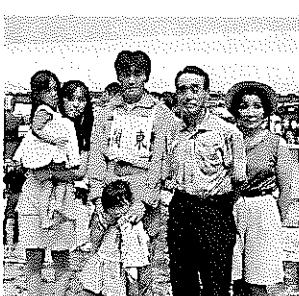
● 大西 美奈さん（京都府）



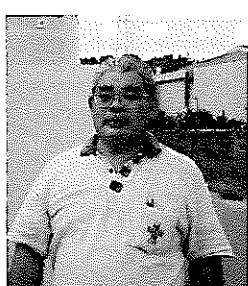
- 漆山 貴子さん（山形県・左側）
- ① 救助隊員の皆さんのが規律ある行動に力強さを感じました。
 - ② 「頼もしさ」をイメージします。
 - ③ 迅速、的確なる行動と地域住民に対する今以上の思いやりを期待します。
 - ④ 地域に根付いたイベントを積極的に展開し、「消防」が今以上に地域の方々の規律ある行動に驚いています。



● 吉田 直美さん（栃木県・左端）



- 安井 勝一さん（愛知県）
- ① 家族全員で応援に来ました。地区大会に比べレベルも高く、皆さんの動きを見て大変感激しています。
 - ② 「困った時のスーパーマン」です。リラックスして仕事をしてもらいたいです。
 - ③ 地域住民のため、今までと同様、頑張つてほしいと思います。
 - ④ 地域住民のため、今までと同様、頑張つてほしいと思います。



- 吉田 直美さん（栃木県・左端）
- ① 全国大会に出場する選手はレベルが高く、特に個人種目の選手の姿を
 - ② 「消防があるから安心だ」というように、これからも頑張つてほしいです。

- ① 全国大会を初めて見て、うれしくてドキドキしていますが、救助隊員の方々の規律ある行動に驚いています。
- ② 「助けてくれる」「頼りになる」けがの無いよう気を付けて、市民のために一生懸命頑張つてほしいと思います。
- ③ 消防にはいつも感謝しています。

- 古井 久美さん（東京都）
- ① 救助隊員の皆さんのが規律ある行動に力強さを感じました。
 - ② 「頼もしさ」をイメージします。
 - ③ 迅速、的確なる行動と地域住民に對する今以上の思いやりを期待します。
 - ④ 地域に根付いたイベントを積極的に展開し、「消防」が今以上に地域の方々の規律ある行動に驚いています。

- 漆山 貴子さん（山形県・左側）
- ① 救助隊員の皆さんはカッコいいし、たくましいと思いました。
 - ② 人を災害から守るという大変な職業を連想します。
 - ③ 各種各様な災害現場に出場されると思いますが、けがの無いよう頑張つていただきたいと思います。

- 安井 勝一さん（愛知県）
- ① 全国大会に出場する選手はレベルが高く、特に個人種目の選手の姿を
 - ② 「消防があるから安心だ」というように、これからも頑張つてほしいです。

インタビュー

① 義弟の応援に家族で駆け付けました。救助隊はまず体力が勝負、それから日々の厳しい訓練があることを肌で感じることができました。

② 何より人命救助を優先していること。それから、各種災害に備え、日々訓練等の努力をしていること。

③ 日々の訓練が、実際の現場で活かされるよう期待します。また、安全を最優先に考えて活動してください。

④ 消防隊員が十分な活動ができるよう、各分野での環境の整備を図ってほしい。

また、私の自宅周辺の道路は、狭いため消防車が入れないので、地域性にあつた消防車両等の導入を考えてほしい。



② 救助技術を身に付けるためには、厳しさが必要であり、強固な精神力を感じる。

③ 全国の消防職員が一堂に会する大会を通じ、技術だけではなく幅広い知識を身に付けてもらいたい。

④ 最近各地で起こっている様々な災害に対応した訓練内容を取り入れて行ってはどうでしょうか。

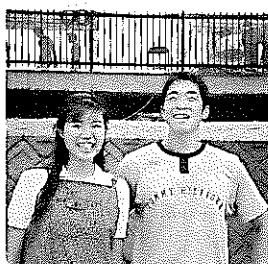
① 鎌えられた姿と躍動感溢れる動きを見て圧倒されました。

② 「力強く、頼もしい姿」

③ 常に危険な場所で活動されるのがの無いよう注意してください。

④ 今以上に訓練を重ねて、市民の生命、財産を守つてください。

● 安達 康信さん（千葉県）



● 原 珠美さん（神奈川県・左側）

① 県大会、地区大会も見に来ています。全国大会は雰囲気も違い、全国の救助隊員に圧倒されそうです。

② 友人に救助隊員や消防団員がいますが、「精銳」をイメージします。

③ 火災だけでなく、地震や事故などの各種災害に対応できるオールマイティーな隊員になつてもらいたい。

④ 地域に密着した活動を行うのが、消防だと思います。これからも日々の訓練に努めてください。



大 会 経 過

第1回	昭和47年9月28日 東京都 豊 島 園
第2回	昭和48年9月21日 大阪市 扇 町 公 園
第3回	昭和49年9月18日 横浜市 県立保土ヶ谷公園
第4回	昭和50年9月10日 東京都 平 和 島 公 園
第5回	昭和51年9月10日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
第6回	昭和52年8月5日 横浜市 消防訓練センター
第7回	昭和53年8月22日 千葉市 県消防学校
第8回	昭和54年8月24日 大阪市 消防学校
第9回	昭和55年8月29日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
第10回	昭和56年8月19日 横浜市 消防訓練センター
第11回	昭和57年8月19日 横浜市 消防訓練センター
第12回	昭和58年8月19日 大阪市 大阪城公園・消防学校
第13回	昭和59年8月24日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール

第14回	昭和60年8月22日 広島市 中央公園・県立屋内プール
第15回	昭和61年8月22日 神戸市 市民防災総合センター・神戸市王子プール
第16回	昭和62年8月21日 千葉市 県消防学校
第17回	昭和63年8月19日 横浜市 消防訓練センター
第18回	平成元年8月25日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
第19回	平成2年8月24日 広島市 中央公園・ファミリープール
第20回	平成3年8月28日 大阪市 消防学校
第21回	平成4年8月28日 千葉市 県消防学校
第22回	平成5年8月20日 福岡市 アジア太平洋センター建設用地・県立総合プール
第23回	平成6年8月25日 京都市 京都市消防学校
第24回	平成7年8月25日 北九州市 北九州市文化記念公園
第25回	平成8年8月23日 札幌市 札幌市消防訓練場・札幌平岸プール

大会ダイジェスト



關 東



第16号

平成9年9月20日発行

発行 (財) 全国消防協会

〒102 東京都千代田区飯田橋3-11-13
(飯田橋豊国ビル) 電話03(3234)1321代